



# 2024年度全日本学生ヨット個人選手権大会 2024年全日本学生シングルハンドレガッタ

2024年9月5日  
全日本学生ヨット連盟・中部学生ヨット連盟

## 競技説明会



## 大会組織

### 大会委員会

大会委員長

石倉 俊宏 (N R O)

### レース委員会

レース委員長

酒井 惟司

プロテスト委員長

南原 健一

テクニカル委員長

杉浦 博之

### 陸上本部

総務部長

中西 真紀

記録・運航部長

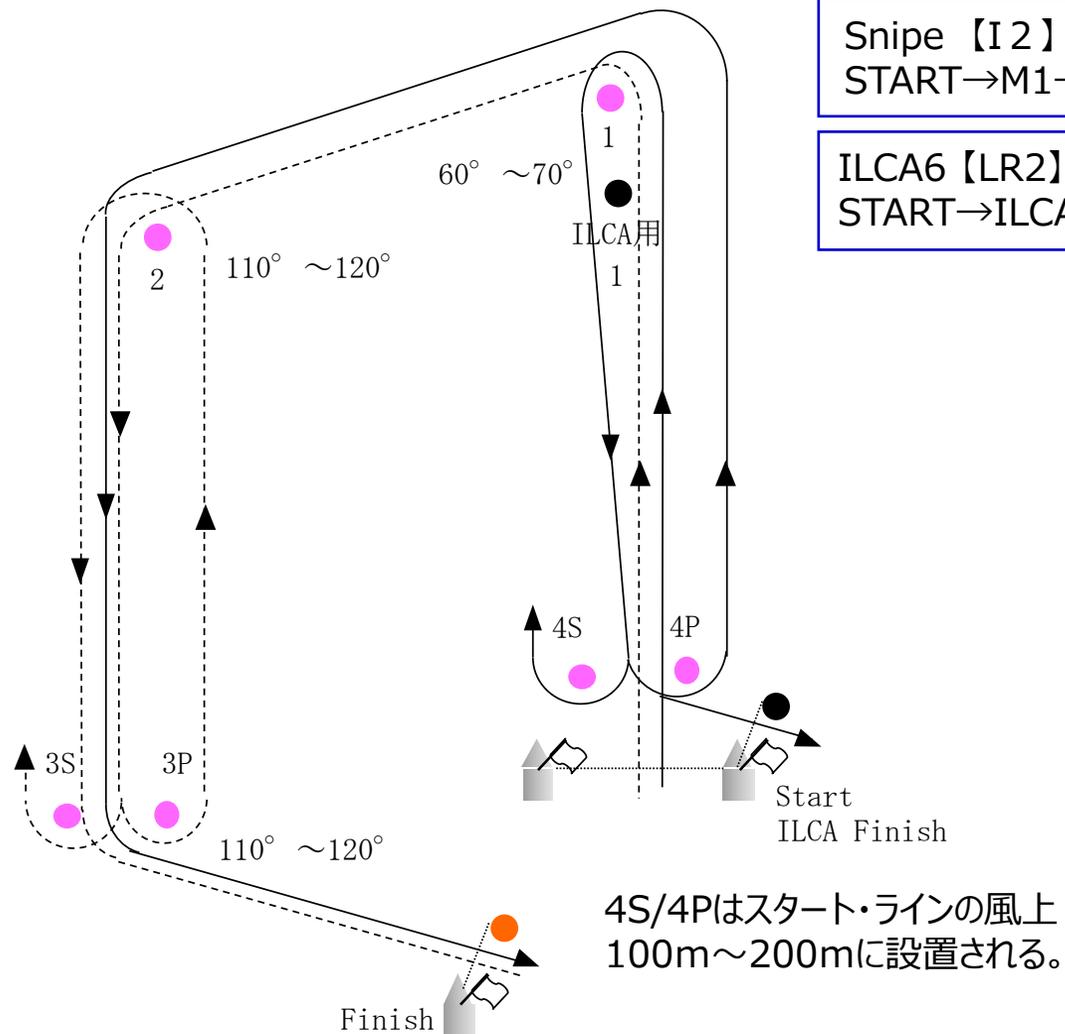
坂井 正和



# レース委員会からのメッセージ

# 添付図C「コース図」の変更解説

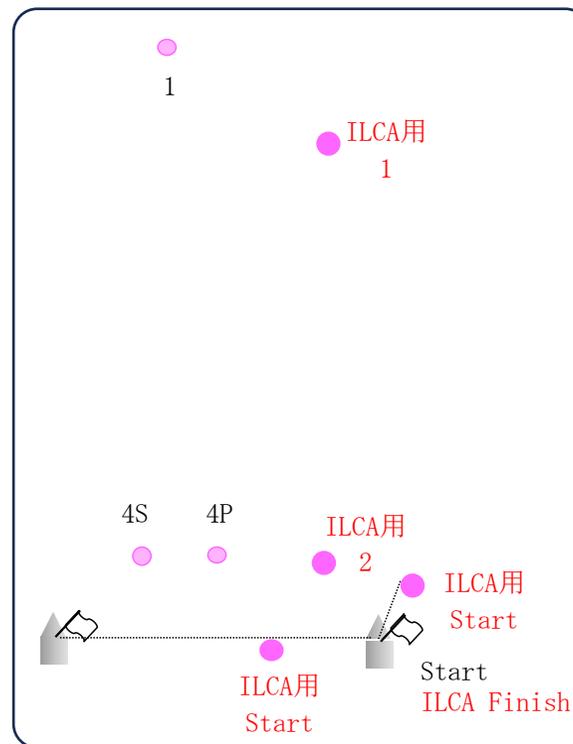
## 【添付図C】コース図



470 【O2】  
START→M1→M2→3P/3S→M2→3P→Finish

Snipe 【I2】  
START→M1→4P/4S→M1→M2→3P→Finish

ILCA6 【LR2】  
START→ILCA用M1→ILCA用M2→ILCA用M1→ILCA用M2→Finish



今回ILCA用に専用マークを設置します  
帆走指示書変更済み

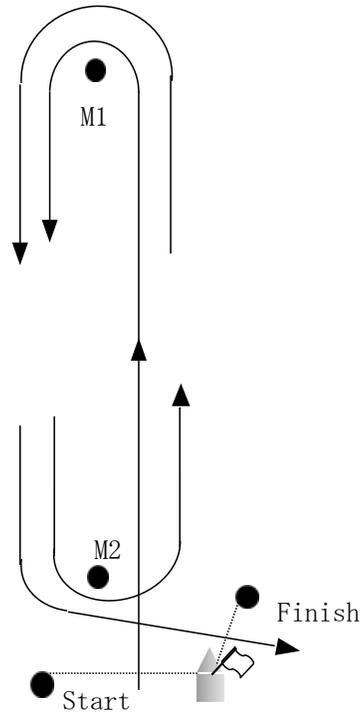


# レース公示・帆走指示書の変更

レース公示の変更（至近で変更した内容についてのみ説明）

ILCAのコースについて変更しています

【添付図C】  
シングルハンドレガッタ



[変更に伴う注意点]

下マークがゲートからソリッドに変わります。  
回航マークを間違えないようにしてください。



## レース公示・帆走指示書の変更

帆走指示書の変更（至近で変更した内容についてのみ説明）

現在変更はありません



## マークの変更 (ILCA6選手向け)

### 1 0 マーク 黄色部分が変更になります

クラス	マーク	形状・色
470 スナイプ	マーク 1、2	ピンク色の円錐形ブイ
	マーク 3s、3p、4s、4p	オレンジ色の円筒ドローンマーク
	指示 10 に規定する新しいマーク	黄色の円錐形ブイ
ILCA6	マーク 1	オレンジ色の台形ドローンマーク
	マーク 2	ピンク色の円錐ブイ
	指示 10 に規定する新しいマーク	ピンク色に黄色の帯の上に数字の 1 を記載した円錐形ブイ (小)

# マークについて

	470,snipe 1, 2	470,snipe 変更	470,snipe 3p,3s,4p,4s	フィニッシュ 470,snipe
形状	ピンク円錐	黄色円錐	円筒形 オレンジ色ドローン	オレンジ円筒
錨	ダンフォース	ダンフォース	—	ダンフォース
写真				

- ・マーク類は全て学連の備品です。他団体のものと混ざらないようにお願いします。
- ・アンカーとチェーンは外さないようにお願いします（針金で固定）
- ・アンカーロープは、アンカーより3mの位置に赤色でマーキングしています。アンカーをあげる時に印として活用していただき、運営艇などにチェーン等を当てないようにお願いします。
- ・エアーマークについて、毎日のレース終了後は、艇庫のブルーシート上で保管をお願いします。

# マークについて

	ILCA6 1 スタートアウター フィニッシュアウター	ILCA6 2	ILCA6変更
形状	台形オレンジ ドローン	ピンク色円錐	ピンク色円錐
錨	—	ダンフォース	ダンフォース
写真			

参考 マークの大きさ





## 公示9 日程に対するガイダンス

注意：方針については、抗議の根拠とはならない

- 9.4 計画しているレースを完了させるため、当日までの計画に対して1レースを越えない範囲でレースを前倒しすることがある。  
⇒翌日の天候でレースが実施できない可能性がある場合などは、前倒しでレースを実施する可能性があります。その場合は、朝のブリーフィングでお伝えします
- 9.5 9月8日は12:31以降に予告信号は発せられない。  
⇒9月8日のスタートのタイム・リミットは12:31:00です。  
タイム・リミットの制約により、470.スナイプ.シングルハンド単独のレース実施もありません。

9月6日、7日のレースについては、15:01以降のスタートは行わない方針でいます。但し、レースの進捗によっては、この時間を超えてレースを行う可能性があります。



## 運営艇

艇の種類	識別標識
レース委員会艇	「RC」と黒字で記された緑色旗
プロテスト委員会艇	「JURY」と白字で記された赤色旗
テクニカル委員会艇	「MEASURER」と黒字で記された黄色旗
レスキュー艇	「RESCUE」と白字で記された緑色旗
メディア艇	「MEDIA」と黒字で記された白色旗
VIP艇	「VIP」と黒字で記された白色旗

スタート信号艇・・・セーリングクルーザー 30 f 船名「OCEAN」



## 運営艇

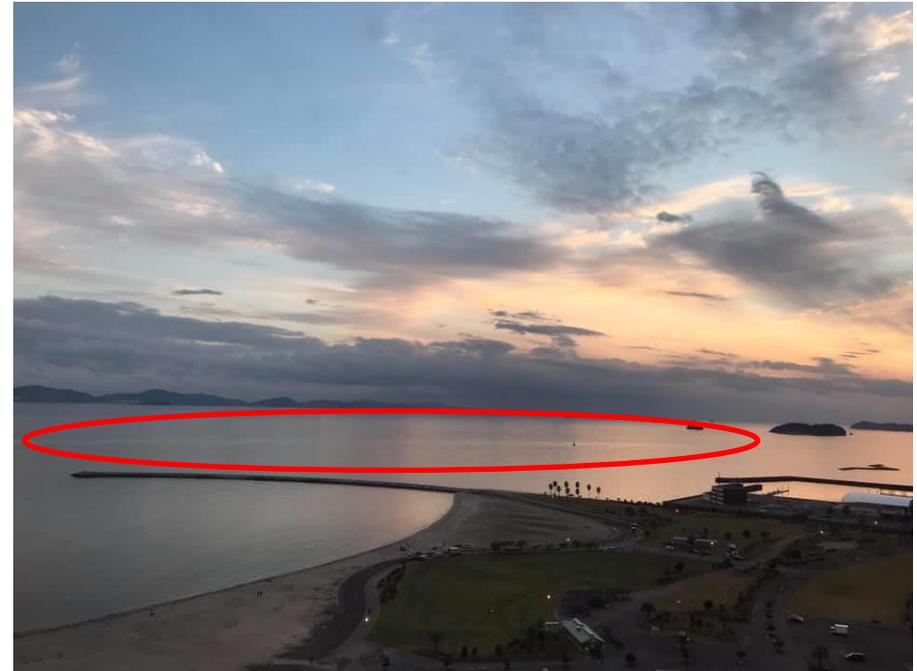
グループ	ホジション	タイプ	艇名
レース・マネジメント	スタート信号艇	Sailing Cruiser	Ocean
	スタート・ピン 兼 4マーク	Rib Boat	グランパス
	1マーク艇	Hard Boat	ビアンカ
	2マーク艇	Rib Boat	SWC
	3マーク艇	Hard Boat	ばあご
	フィニッシュ	Sailing Cruiser	小町
セーフティ・マネジメント	レスキュー1 兼 VIP (晴天時)	Hard Boat	サムライ
	レスキュー2 兼 メディア	Rib Boat	高師
	レスキュー3(Towing) 兼 Maruchi	Rib Boat	モリゾ
テクニカル	Measurer	Rib Boat	恵風
プロテスト	Jury1	Rib Boat	エイボン
	Jury2	Rib Boat	TG-WAVE
オルガニセーション	VIP	Hard Boat	東明工業艇



## レースエリア



大会期間中、他の大会はありません





O旗R旗



コース変更指示ボード





## 出着艇申告, トラッキングシステム, D旗, ブリーフィング

### [出着艇申告]

SI 17項に記載の通り, 本大会では, **記名方式**を採用します。  
安全に関する事項です, 忘れないようお願いします。

### [トラッキングシステム]

SI 6項に記載の通り, 貸し出しと返却をお願いします。  
場所は, **大屋根下**とします。

### [D旗]

SI 5項の補足説明です。  
全クラス出艇の場合  
470級⇒snipe級+ILCA6級 の2回に出艇を分けます。  
ILCA6級の選手は, snipe級の選手の後ろで準備をお願いします。

### [ブリーフィング]

Nor 7.5項に記載のブリーフィングは**大屋根下**で実施します。



## 支援チーム規程 (STR)

1. 支援者艇は、次の条件を満たす場合のみ使用が認められる。
  - ① 支援者艇は水上にいる間『大学名を記した表示』を両舷から視認できるように掲示しなければならない。これらは、『艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項』に合わせた大学名の記載とし、A3用紙サイズ以上の大きさで表示するものとする。また、これらは競技者により準備する。**忘れた場合は、大会にて1セット1,000円で作成を承ります。**
  - ② 支援者艇は、大会グループLINEに登録をするとともに、申込時に代表者の電話番号を登録しなければならない。変更がある場合は、大会受付に申告する。
  - ③ 支援者艇は、常時グループLINEが確認できる状態にしていると共に登録した代表者の電話に出られるようにしなければならない。
  - ④ 主催団体が指定する西側棧橋以外に係留してはならない。
  - ⑤ 支援者艇が乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしのために一時的に豊田自動織機海陽ヨットハーバーに入港する場合でも、ヨットハーバー事務室にて所定の手続きを行い、使用料を支払わなければならない。その上で、乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしが完了次第、速やかに出港しなければならない。



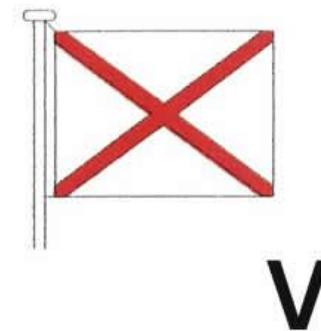
## 支援チーム規程（STR） 支援者艇が例年特に守られていない事項の説明

2. 支援者がレース海面付近で乗船した艇は、本規程を適用する。ペナルティーは、乗船している支援者が関係するチームへ行うものとする。
3. [NP] [DP] 競技者の安全な出艇を確保するため、支援者艇は、D旗掲揚前については出艇してよいが、最初のクラスのD旗掲揚から20分間は係留した棧橋から離岸してはならない。またこの時間帯は安全確保の活動を除きハーバー港内と港内からの出入口200m付近に待機してはいけない。
4. [NP] [DP] 支援者艇は、レース委員会艇、レース艇の付近およびハーバー内では低速で航行するなど安全に努めなければならない。



## 支援チーム規程（STR） 支援者艇へのお願い

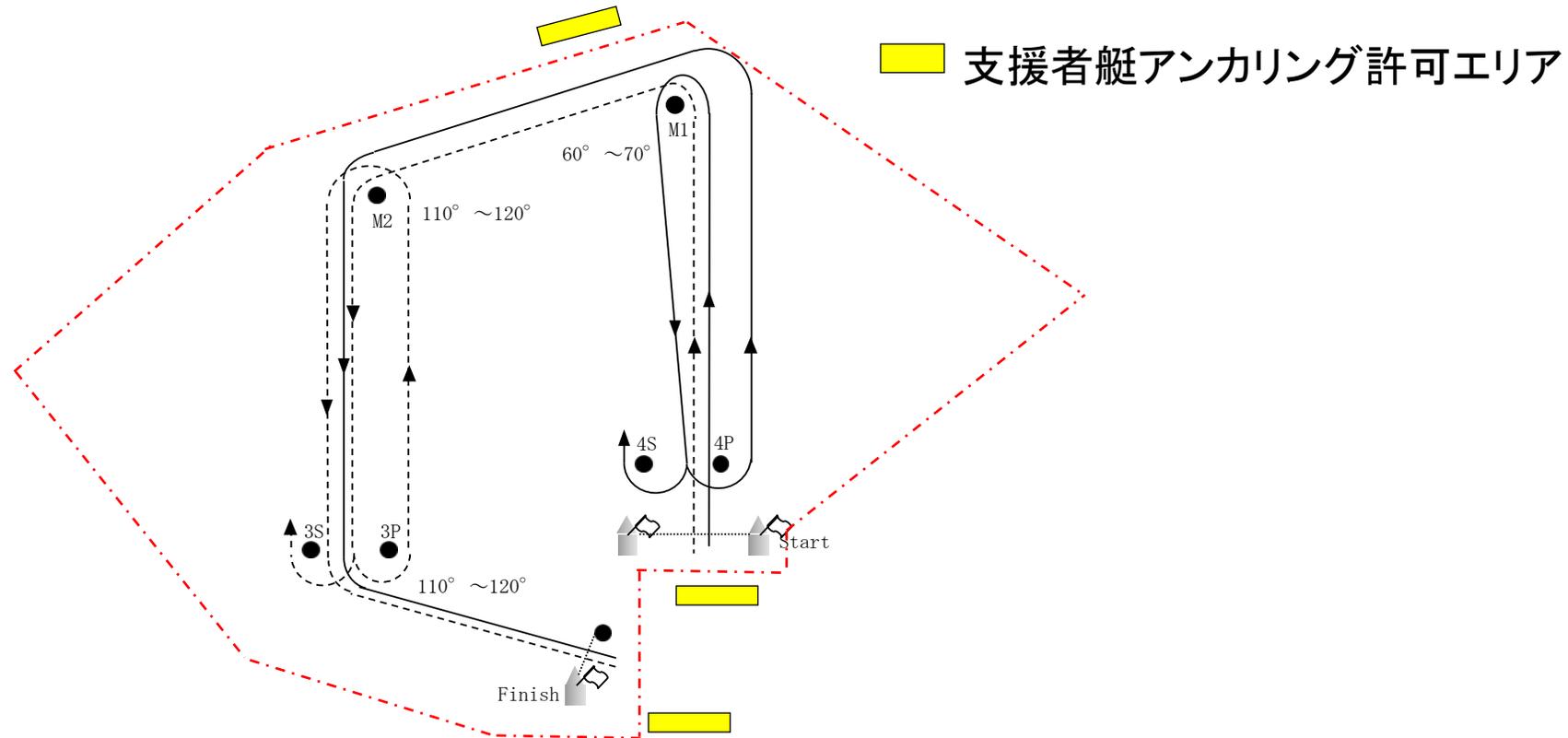
- 8 規則37を以下の様に変更をする。レース委員会が音響1声とともに、V旗を掲揚した場合、支援者艇はレースをしているエリアを含む全てのエリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。ただし、支援者艇は艇に対して救助活動を除いた援助を与えてはならない。この場合、本規程5、本規程6は適用されない。
- 各大学の支援者艇は**自校の艇に対してのみ救助対応するのではなく、近くの要救助艇への対応**をお願いします。
  - 援助が必要な艇が出た場合は、**当該大学の支援者艇に対応をお願いします**ことがあります。
  - 選手が救助を求めるときは、運営艇に向けて大きく手を振って下さい。
  - **LINEは常時確認をお願いします。また、個別電話をする場合もありますので注意下さい。**
  - 支援者艇に乗船する代表者は、**必ず連絡が付く電話番号の登録**をお願いします。





## 支援チーム規程 (STR) 支援者艇へのお願い

8. [NP] [DP] 支援者艇は、故障時を除きアンカリングする場合は、【添付図】に示す指定の許可エリアで行うこと。また、アンカーにブイ等を付ける場合は、それらに大学名を記載すること。



9. [NP] [DP] 支援者艇のドライバーは、キルコードが装備されている艇については、操船中キルコードを適正に使用しなければいけない。



## 運営艇のトラブルについて

---

レース中などで選手が運営艇に接触した場合は、場合により選手の皆様に修理費を請求させていただきます。

接触したときは、陸上に帰ってきた後、大会窓口に申し出るようにお願いします。



# 公式掲示について

## 大会ホームページ [全日本学生ヨット連盟](#)

公式掲示は、全日本学生ヨット連盟ホームページ内にある大会ページに準備しております。  
大会期間中の使用書類（乗員申告など）リンクは、レース公示のほか、大会ホームページからも提出が可能です。  
送付の際は、必ず送信したことを確認ください。場合によっては、失格となる場合があります。  
※送信ミス無くするため、自分への同時配信機能等を利用ください。



ラグーナで音楽フェスが開催され、場合によってはネット通信がしにくくなる場合が予想されています。  
この場合、**陸上本部付近に臨時のWi-Fiスポットを設置します**のでご活用ください。  
なお、**Wi-Fiスポットは、各種申告などにのみ使用し、一般のホームページ閲覧やSNSの利用には使用しないで下さい。**  
Wi-Fiスポット開設時は、別途グループLINEで通知します。



## レース委員会への質疑

質問は、説明会終了後19時までにリクエストシートでお願いします。  
規則に関する口頭での質問には回答できません。



# プロテスト委員会からのメッセージ

プロテスト委員会からは、公式掲示板に、  
**「プロテスト委員会からの選手と監督・コーチへのメッセージ」**を  
掲示していますので、そちらを確認していただくことをお願いいたします。

この場では、その他の連絡事項をお伝えします。

### **1. 審問要求書の配布、提出について**

今回、RRS. Orgを使用します。

何らかの理由でオンライン提出ができない場合、審問要求書は  
大会ホームページに掲載しています。

書面で受領したい場合の配布場所は、

- ・ 帰着申告を受付けている間は陸上本部、
- ・ 帰着申告受付時間以外はプロテスト委員会室です。

**審問要求書の提出は、プロテスト委員会室（W1）です。**

## 2. 審問のオブザーバー

審問を傍聴したい方は審問開始前までにプロテスト委員会室に  
来てください。審問スペースを勘案し、可能な場合は傍聴を認めます。

入室時には、録音・録画・記録が可能な**電子機器・筆記具は持ち  
込めません。**

これはルールブック電子版を閲覧するための端末も含まれます。

## 3. プロテスト委員会への問い合わせ

プロテスト委員会が選手等からの質問に回答する場合、  
質問およびその回答を公式掲示板に掲示します。



## テクニカル委員会からの連絡

## 海上でのピックアップ計測について

---

テクニカル委員会は、競技者が安全かつ規則に従っているかを確認するために指示20に基づき、ピックアップ計測を行う場合があります。

ピックアップ計測を行う艇はテクニカル委員会内で選定を行います。

フィニッシュ・ライン付近で、「Measurer」と黒字で記された黄色旗を掲揚し待機しています。

メジャラ艇より指示された艇は、速やかに停止し、メジャラ艇の指示に従って下さい。



# 大会委員会からのメッセージ



ハーバー施設の利用について

# 大会レイアウト



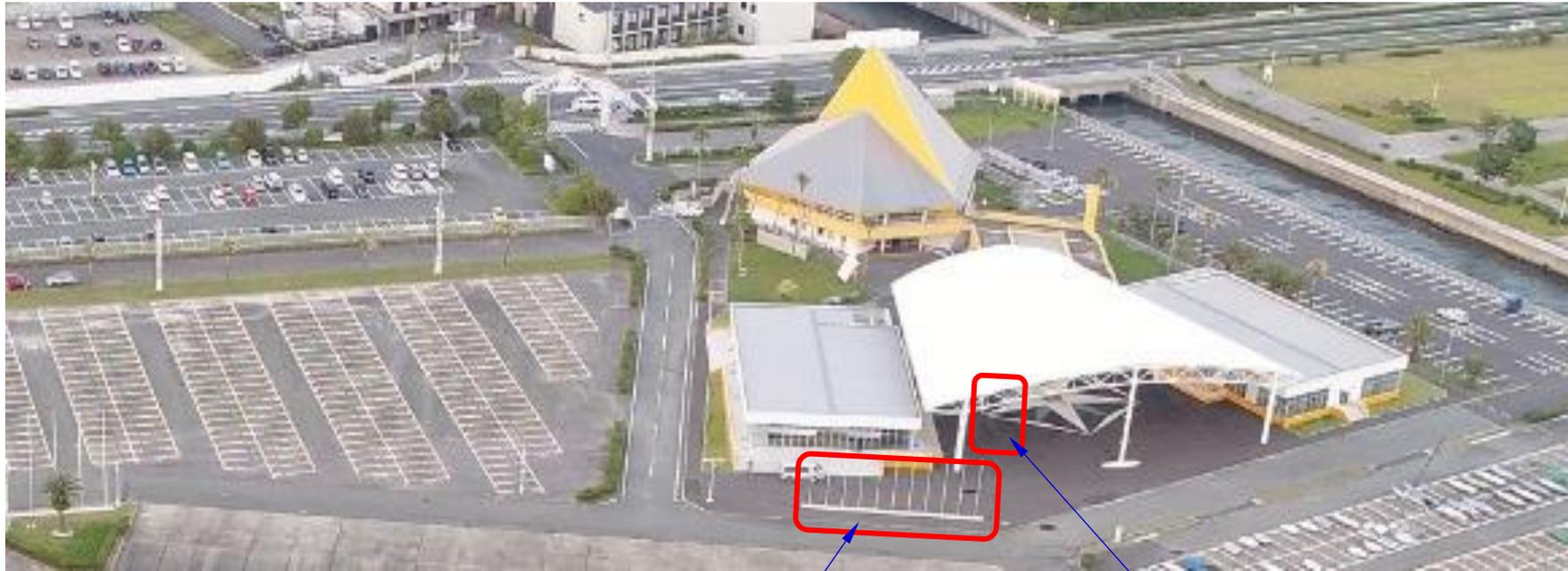
レース艇保管  
一部支援者艇含む

支援艇保管

ラック保管



# 大会レイアウト

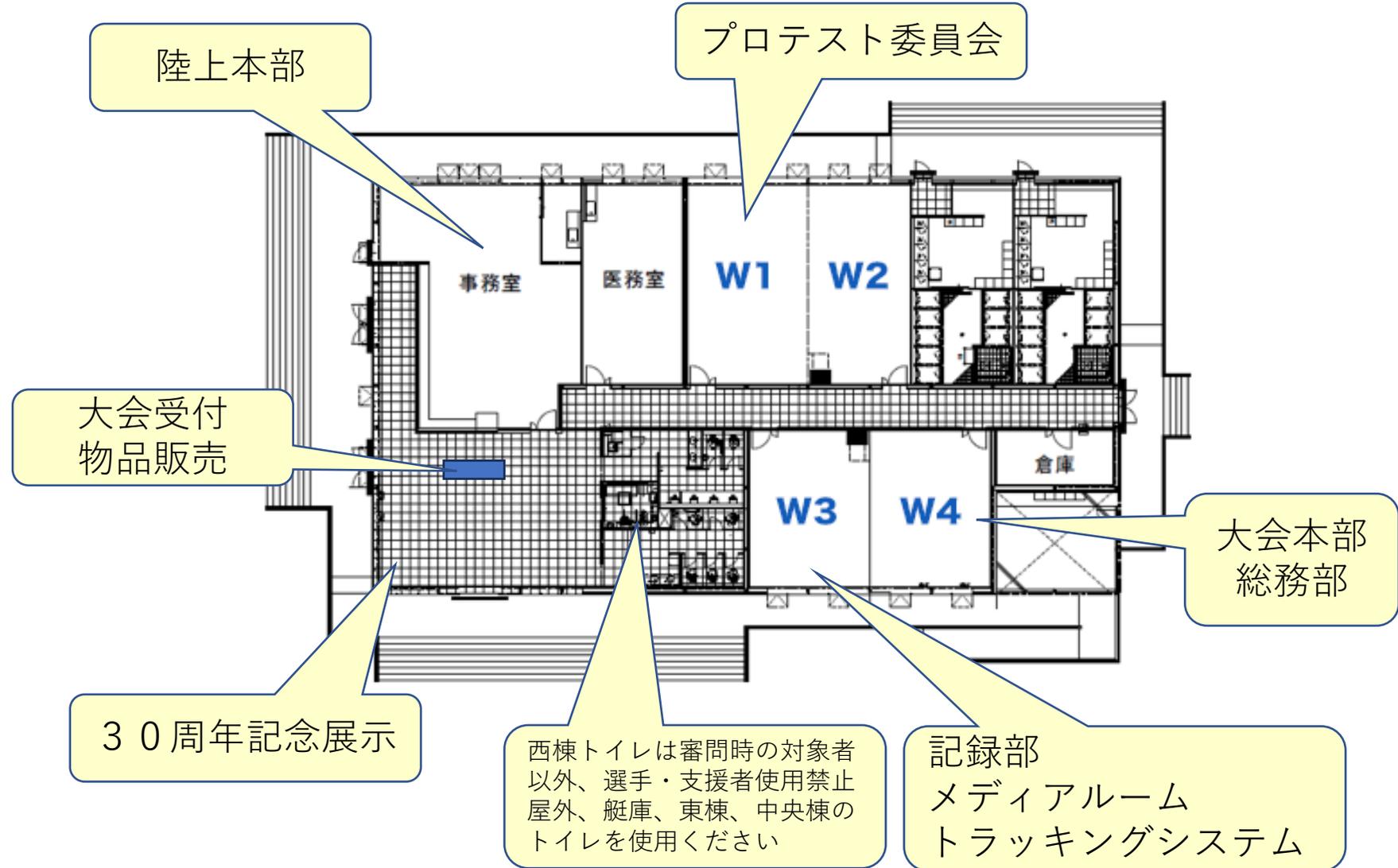


フラッグ掲揚場所  
大会本部前のポール

出着艇申告ほか  
物品販売



# 大会レイアウト（競技運営（西）棟）



# ロッカールーム・シャワールーム

## クラブハウス中央棟 1階

女性用シャワールーム  
女性用ロッカールーム

男性用シャワールーム  
男性用ロッカールーム



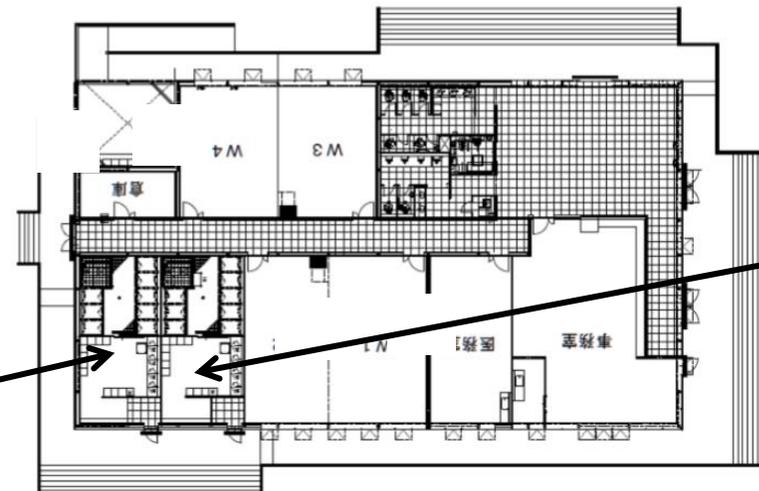
ハーバー事務所

搬入申請・支払い・支援艇出港届出  
レンタル手続き

男性用シャワールーム

## 競技運営棟（西棟）

女性用シャワールーム



男性用シャワールーム

# ハーバー営業時間

9月	5日	(木)	8:00	~	18:30
9月	6日	(金)	7:30	~	17:30
9月	7日	(土)	7:30	~	18:00
9月	8日	(日)	7:30	~	18:00

営業時間外は、ハーバー内に滞在することが出来ません。  
審問対象者のみ大会オフィス前で待機出来ます。  
それ以外の方は、時間までに退所をお願いします。

# トイレの使用について

海陽ヨットハーバーのトイレは、全部で5か所あります。西棟のトイレは、大会運営と一般のお客様、審問時の選手優先とし、選手、支援者は、これ以外のトイレをなるべく分散して使用するようして下さい。



# バースの配置について

- **指定された場所へ艇を置く**ようにしてください。1艇でもずれると管理ができなくなるためお願いします。どうしても移動が必要な場合は、大会本部に相談ください。

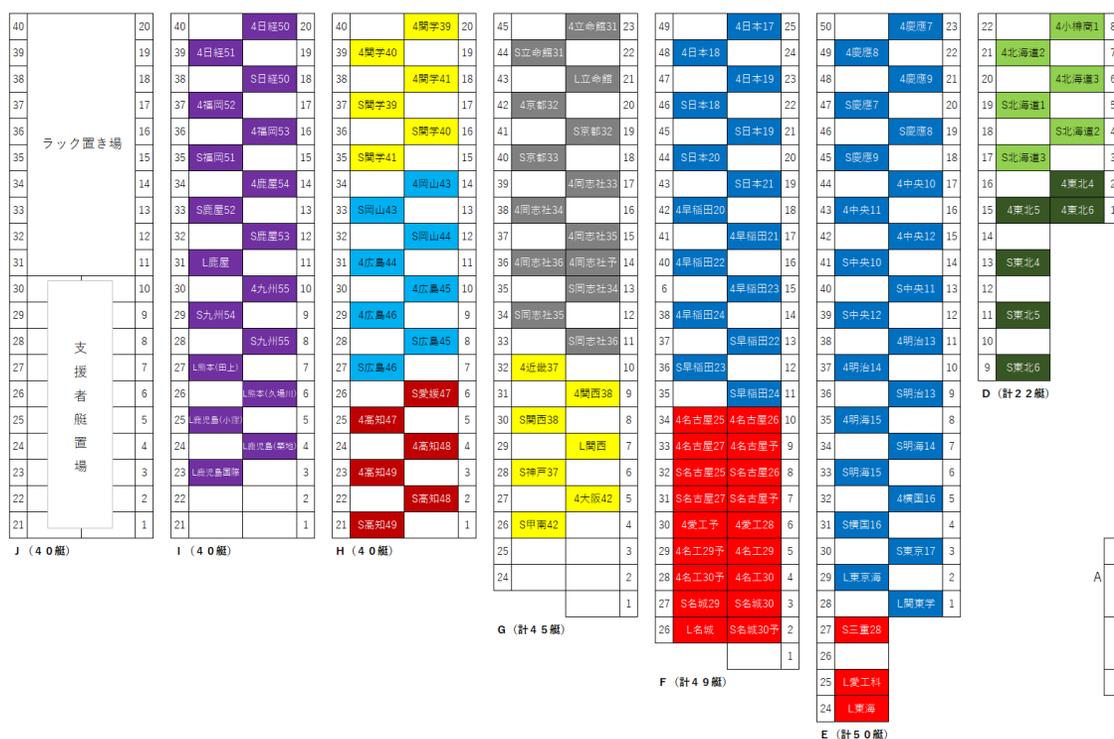
開いているスペースは、選手同士で譲り合い荷物置き場として使用ください。大会に関係ない艇は置かないようにお願いします。

ラックは、**必ずラックエリアに置いて、艇と艇の間には置かない**ようにお願いします。

- 艇と艇との間にテントを張ることは、熱中症対策の観点から許可しますが**海上に出る時も含め、人が居ない時は、テントをたたむ**ようにお願いします。

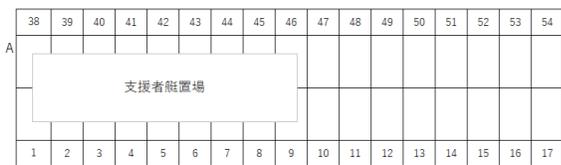
- テントが飛んでトラブルになったときは、大会、海陽ヨットハーバーは関与しませんので注意ください。

全日本学生ヨット個人選手権大会 西ピシターヤード区画表



- 注意事項
- 担当が無いバースは、使用不可(コロナウイルス感染予防対策で三密を避けるため)
  - 選手の荷物積みを一時的に置くのは可。支援者艇を割り当てる可能性がある。
  - 三密を避けるため、レース艇の保管は、必ず指定されたところに保管すること。
  - ラック・支援者艇は、指定位置に保管すること。
  - 荷物置き場や艇の間は、隣接する選手同士譲りあって使用する。
- 凡例
- 北海道水城
  - 東北水城
  - 関東水城
  - 中部水城
  - 近北水城
  - 関西水城
  - 中国水城
  - 四国水城
  - 九州水城

艇置場凡例  
 クラス (4: 470 S: スナイプ L: シングランド 支: 支援者艇)  
 S○○大学42 ← 識別番号



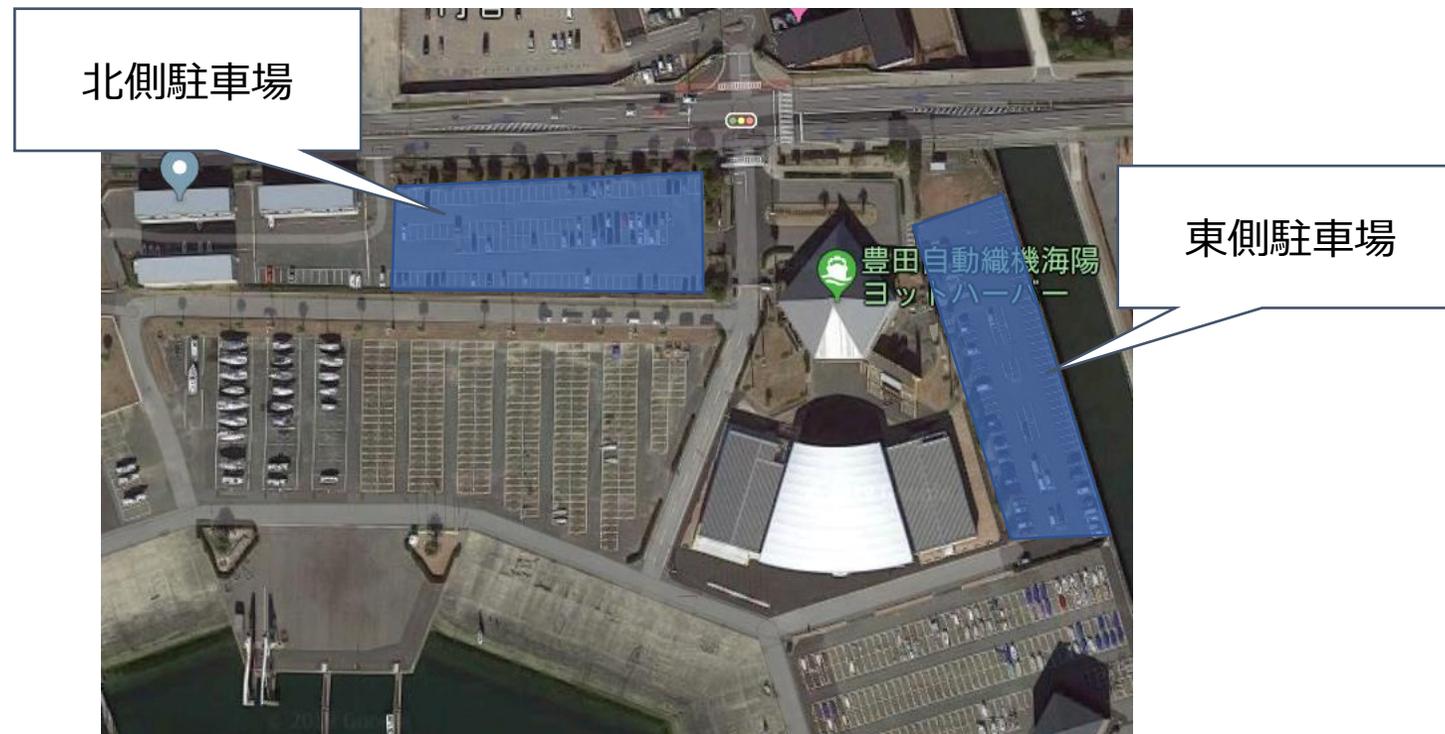
## 自家用車の駐車について

許可車を除き、自家用車は豊田自動織機海陽ヨットハーバー構内へは入れません。  
北側または東側の駐車場を利用下さい。

**駐車場は一般利用者也使用します。**

**駐車場内では枠内に駐車し、駐車以外の目的の占有など他の方の迷惑になるような行為は慎んでください。**

**トラックによる、複数の駐車枠にまたがったの駐停車もご遠慮下さい。**



## ハーバー内禁煙について

豊田自動織機海陽ヨットハーバー内は(携帯灰皿の使用を含み)指定場所以外では喫煙できません。

**喫煙場所はクラブハウス中央棟南側入り口付近に設置されています。**

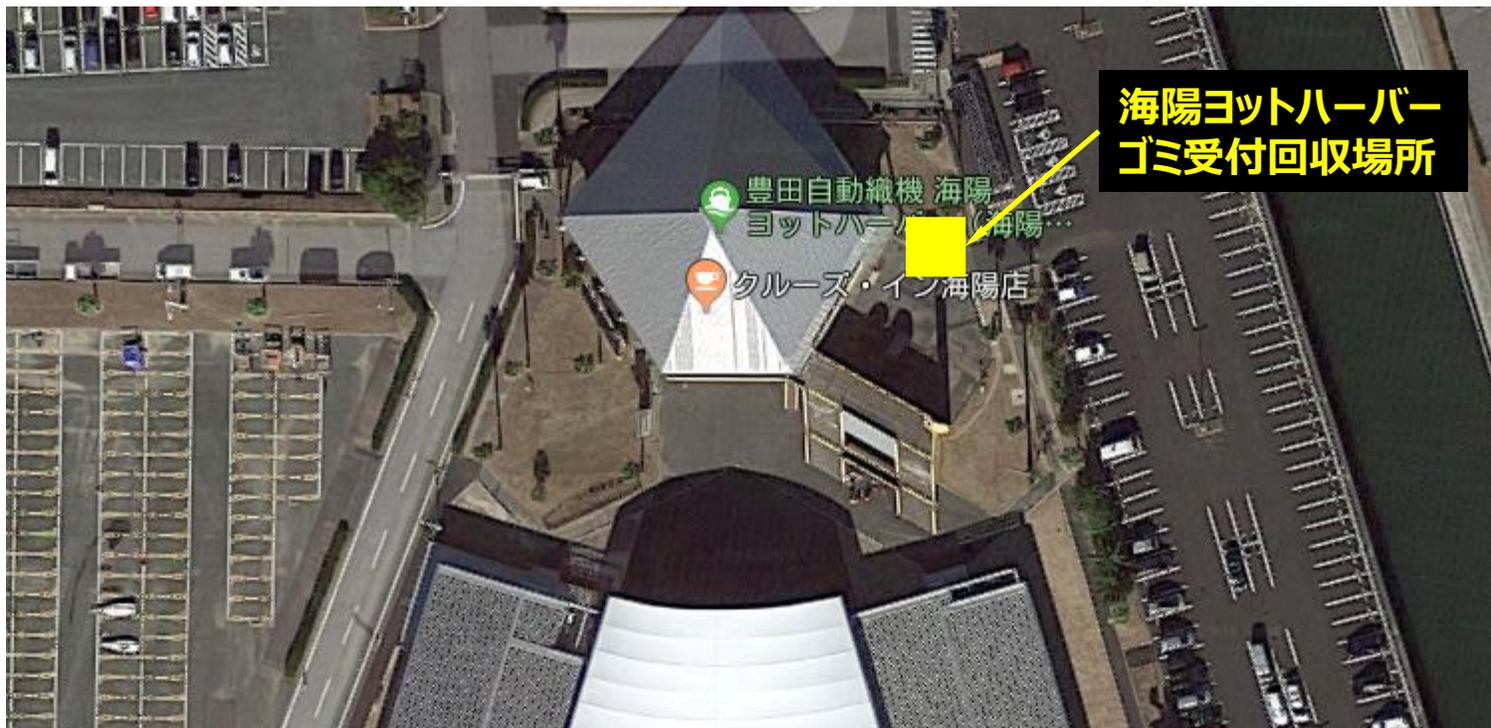


## ゴミの受付回収について

豊田自動織機海陽ヨットハーバーのご厚意で、**16:45-17:00の時間限定**でゴミを受付回収します。

1. 「一般ゴミ(ペットボトルを含む)」、「ビン」、「カン」、「ダンボール」に分別下さい。
2. 「一般ゴミ」は透明、又は半透明のビニール袋に入れて、大学名を記載下さい。
3. 破損したスパー等の粗大ゴミは各自で持ち帰り下さい。
4. 時間外は施錠してあります、持ち込みはできません。

ルールが守れない場合は、ごみ回収を止める場合があります。



豊田自動織機海陽ヨットハーバー指定避難場所 **三谷東小学校**

# 津波警報発令時避難経路



海陽ヨットハーバー利用時の地震発生時の対応について  
海陽ヨットハーバー利用時に地震が発生した場合で津波が予想される場合は、直ちに高台に避難をお願いします。  
海上にいる場合は、陸上へ早急に戻り避難するようにお願いします。

[リンク先のページ](#)



## 写真・動画の公開について

---

期間中の大会に関係する選手などの写真・動画は、大会主催者を通じてSNS等で公開させていただきますのでご理解ください。

選手、関係者の大会会場付近でのドローン飛行はできませんので注意ください。  
三河湾でドローンを飛行させる場合は、届け出がまいります。



## SDGs に取り組みます！

この大会では、国連が提唱する国際社会全体の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献するため、全ての参加者で実践していきたいと思えます。

### ➤ 海の豊かさを守ろう

ナイロンごみを減らすためペットボトルの分別回収を実施します。ペットボトルを綺麗に洗い、ラベルを剥がした後レガッタオフィス前の回収場所へ持参ください

### ➤ 陸の豊かさを守ろう

表彰式前に一斉にゴミ拾いを実施します。

当日放送にて案内をさせていただきますので皆様にご協力をお願いします。

### ➤ 気候変動に具体的な対策を

運営艇・支援者艇など全てのボートのアイドリングストップを行い、二酸化炭素の排出削減を行います。支援者艇などは決められた位置でアンカーリングすることが可能です。

### ➤ すべての人に健康と福祉を

ペットボトル飲料のフタを回収いたします。

回収されたフタは専門機関を通じて、発展途上国へのワクチン支援費用に活用されます。

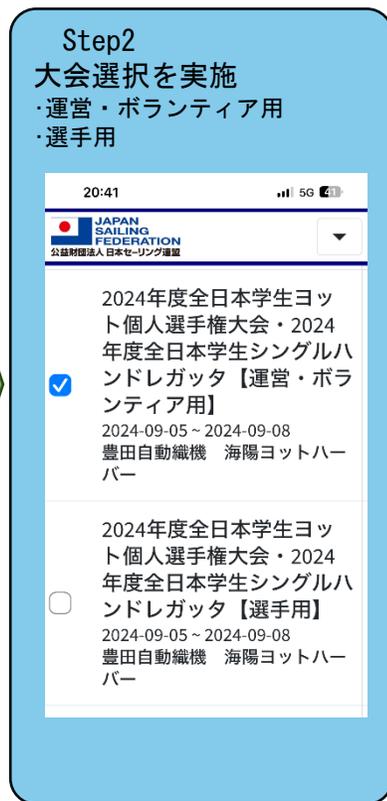
レガッタオフィス前の回収場所へ持参ください。





## 【SDGsアプリを活用し環境保全活動のお願い】

JSAFは、「残したいのはきれいな海」をスローガンに主に環境啓蒙活動を行っています。今回、SDGs啓蒙アプリを活用し、環境保全活動の取り組みを推奨していますので、選手・運営の皆様は、アプリ登録した後、本大会の登録（選手・運営ボランティアそれぞれ選択）をお願いします。なお、アプリの登録方法、本大会登録、使用方法については、QRコードから説明を確認のうえ、登録ください。





最終日の艇・支援者艇の搬出について



## 最終日の搬出手順

### 【艇の搬出について】

- 艇搬出用トラックの海陽ヨットハーバーへの到着は、10:30 以降を指定下さい。到着したトラックから海陽ヨットハーバー内の指定位置に停車してもらいます。指定位置以外に駐車している、トラック、乗用車、トレーラーは、整理のため一度海陽ヨットハーバーより退場していただきます。（再入場は他のトラック等の後回しになります）
- 艇を洗った後は、スロープ・構内道路から速やかに指定されたバースに移動させこれらエリアでは作業をしないで下さい。支援者艇も指定エリアを除き同様です。作業をしている場合は、強制的に撤去します。
- ハーバー内は反時計回りに一方通行で走行をお願いします。
- 艇の積み込みは、トラックの横 3 m の範囲で行いこれを超えての作業は避けて下さい。これを守れる場合は、トラック停車後、積み込みを開始していただいて構いません。
- 構内道路付近での作業は、いかなる場合も行わないで下さい。
- 荷物積み込みのための乗用車は、全てのトラックが入場後、北側道路で可能とします。タイミングは、別途連絡します。バースエリアには、トレーラー・自動車等を乗り入れないようにして下さい。



## 最終日の搬出手順

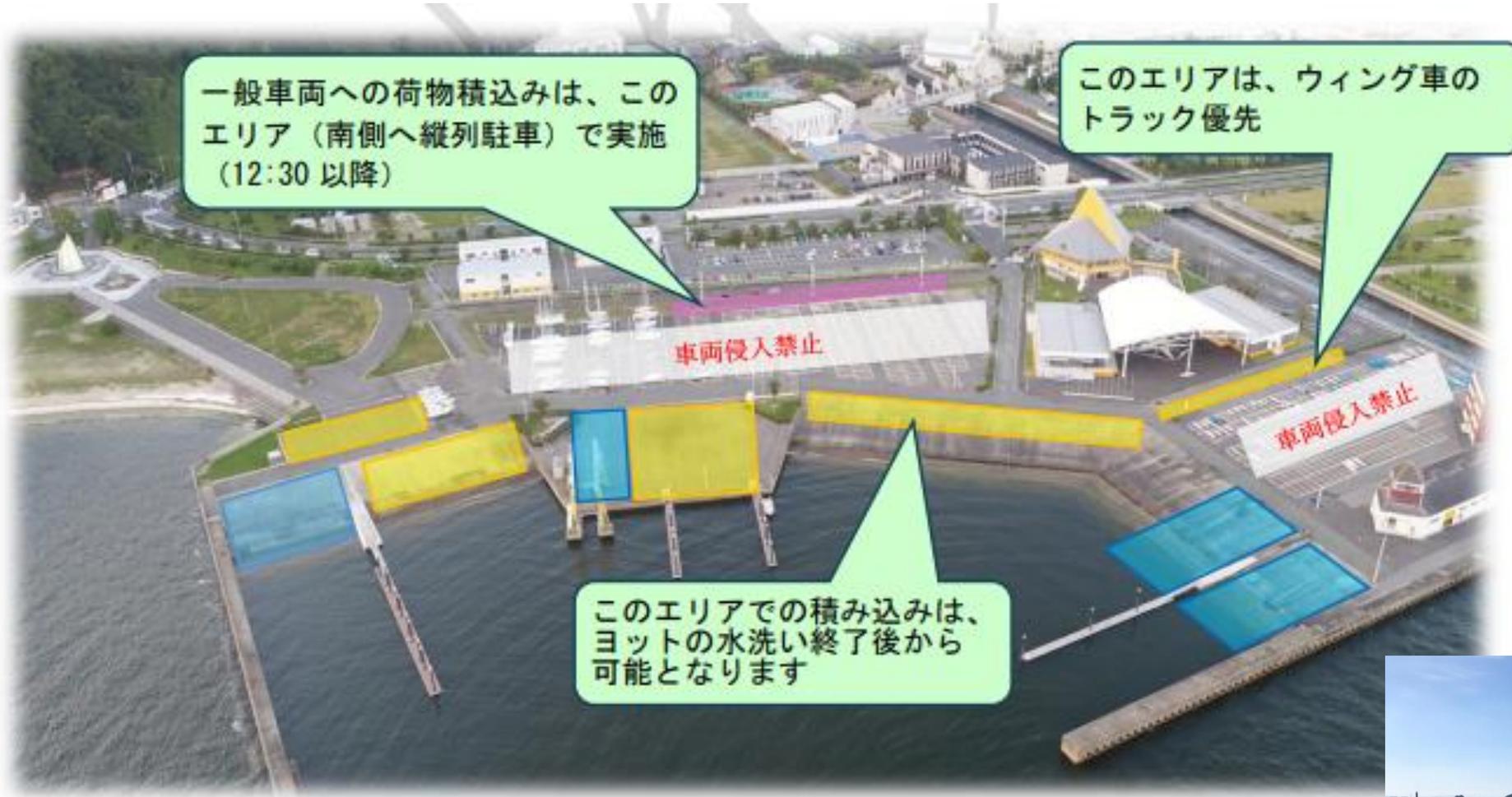
---

### 【【支援者艇の搬出について】】

- 支援者艇の搬出作業はクレーンより西側または艇庫前のエリアで行って下さい。
- ハーバークレーンを使っの支援者艇等の上架は、最終レーススタート後から全ての運営艇が上架し終わるまでの間は、利用不可とします。また、クレーン付近での積み込み作業は、他の上架作業の邪魔となるため禁止します。

同様の内容は、パンフレットにも記載しています。

# 最終日の注意事項について



- 支援艇上架・積み込みエリア
- ヨット積み込みエリア
- 荷物運搬車両への積み込みエリア 12:30以降



# 大会委員会への質疑

質問は、説明会終了後19時までにリクエストシートでお願いします。  
規則に関する口頭での質問には回答できません。



**みんなで大会を楽しみましょう！**  
**全日本学生ヨット連盟・中部学生ヨット連盟**